

# 平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立野崎西小学校
作成日	平成26年3月3日

## 1 教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に対応して  
たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が地域と交流を深めて、地域における教育・文化活動の情報センターという役割を果たすよう取り組んでいるのはたいへん意義があると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年・季節に合わせて、さまざまに取り組み、豊かな心の育成に努めている。</li> <li>・ゲストティチャーを招くなど体験的な活動を多く取り入れていることはゆたかな心を育てるにはたいへん重要なことであると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上のために教職員が一丸となり、学力テストの分析をし、それをもとに取り組んでいることは素晴らしいと思う。</li> <li>・夏休みに補習を行うなど教員が熱心に取り組んでいると思う。</li> <li>・まずは和歌山県の平均値を目指して取り組んでほしい。</li> </ul>
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多くの方々に協力を得て、「開かれた学校」づくりに取り組んでいる。</li> <li>・野崎地区との合同作品展は、地域の方の恒例の行事として続けることが望まれる。</li> <li>・6年生が感謝の気持ちを込めて、見守り隊の方々にミニふきんをプレゼントした。全校児童の前で手渡しすることは大変良いことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教育活動を通して、豊かな心を育成するように努めている。子どもたちにとっては、さまざまな体験をすることが大切である。そうした観点でゆたかな心を育てられるような取組みがなされている。</li> <li>・いじめに関する取組で「いじめは必ずあるもの」と考えて取り組んでいることはたいへん良いことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度の全国学力テストは課題が多かったが、今年度の全国学力テストの結果を見ると全国平均を上回り、たいへん素晴らしい結果であるが、県の学力テストの結果を見る限りでは、特に4年生に課題が多く見られるため、まずは、基礎的な学力を身に付けさせる努力をしてほしい。</li> <li>・体力テストの結果を見るとさすが体育科の研究校であると感じた。学力向上と同じように体力向上にもさらに取り組んでほしい。</li> </ul>
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区内の保育所と交流は、2年生になろうとしている1年生にとって、大変意義がある。校区内にある他の保育園や幼稚園にも声をかけて交流ができていないのかと思う。</li> <li>・学校近くの公園の清掃を地域の自治会と共にこんな事は大変よいことである。</li> <li>・地域や保護者、関係機関と共に和歌山大学への大津波を想定した避難訓練はたいへん素晴らしいものであったが、1回目でもあり、改善すべき点がいっつかあるので来年度はさらに素晴らしい避難訓練を実施してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市で一番早い運動会は、緑が鮮やかでとてもよかった。毎年、1年生に芝の補植をさせることを続けて行くことは意義のあることである。また校務員さんを中心に芝生の管理はたいへんご苦労があると思う。</li> <li>・学校開放月間だけでなく、色々な分野のゲストティチャーを招き学年に応じた体験的な活動を重視しているのはたいへん大切なことだと思う。</li> <li>・いじめや問題行動に対して、担任だけでなく学校全体で取り組んでいることは評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を参観させて頂くと一人一人を大切にしながら、個々の力を十分発揮させていく工夫や努力がなされていた。若い教員が多く活気のある授業がなされていると思う。これからの和歌山の教育を担う立場にあると思うので、さらに教員としての力量を高めてもらいたい。</li> <li>・ほとんどの子どもたちは授業に対して、意欲的に取り組んでいたが、声が小さかったり姿勢が悪かったりする子どももいたので、きちんと指導をする必要があると思う。</li> </ul>
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や文化の情報センターとして、中心的な役割を果たすためにも、地域が持っている「力」(技術、知恵、知識、やる気など)をどう活用していくか。そうした情報を得るためにさらに地域との連携を深めてほしいと考えている。</li> <li>・学校便りや様々な会議を通して今後も地域への情報提供や連携を深めてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心の育成は、学校教育の大きな柱ではあるが、子どもたちが豊かな生活体験が得られるよう、家庭や地域の教育力にも積極的に働きかけていく必要がある。</li> <li>・一人ひとりが大切にされ、認められる取組みや環境作りに努め、難しい時代ではあると思うが今後も教職員が一丸となり、取り組んでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力・体力の向上は、学校として計画的意図的にその方策を考え、目標を持って取組まなければならない。職員で学力テストを分析し、課題や目標を決め学校全体で取り組む姿勢は素晴らしいと思うが、さらに少しでもいい結果を残していただきけるようお願いしている。</li> </ul>

## 3 その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の芝生化により、子どもたちは今まで以上に元気で生き生きと活動しているように思える。放課後運動場を開放することで子どもたちがよく遊びに来るようになったという話を聞いてほっとしている。最近家の中やゲーム機で遊ぶ子どもたちが増え、公園や地域でも外で遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなった。</li> <li>・参観授業を見て保護者の中にスマートフォンを手にしながら顔をあげない方や廊下で話をしている方がいるのが気になった。昔とは保護者の方も変わってきて学校もたいへんだと感じた。</li> <li>・学校の棚にきちんとランドセルを入れること等の整理整頓ができていない子どもや学校の備品を大切に使用しない子どもがいるのが気がかりである。</li> <li>・地域や保護者、関係機関と連携した大津波を想定した和歌山大学への避難訓練は将来予想される南海トラフの大地震への対応としてたいへん重要なものとなるのでぜひ今後も続けてほしい。地域としてもできる限りの協力はしたい。</li> <li>・学力や体力の向上も大切なことであるが、子どもたちは将来職業につく、その時に働く意欲のある子どもを育てることやどんな職業も尊いものであることを教えてほしい。</li> </ul>
---